



南小だより

まとめと準備の3学期

新たな年の始まりです。3学期は、今年度のまとめの学期、そして次年度への準備の学期でもあります。それぞれの進学・進級に向けて、積み重ねてきたことの仕上げをします。本年も引き続き保護者・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



今年度を振り返りそしてまとめるにあたり、あらためて保護者や地域の方々の支えに感謝をいたします。ここまで学校行事をとおして児童がチームワークやベストを尽くすという「心の力」を高めることができたのも皆様の協力のおかげです。ボランティアの方々にも継続的な活動で本校を支えていただいております。これからも子供たちの元気な声を教室や校庭に響かせることで、感謝の意を表したいと思えます。

思考、体験、チャレンジ！

中学校で野球部を指導していた頃の話です。（野球の話になりますがご容赦ください。）走塁の技術をみかくにはチャレンジが必要です。アウトになるかセーフになるかはチャレンジして「ギリギリ」を体験してみなければ実力は身につけません。考えるだけではだめで、思考と体験を重ねてこそ技となります。負けたくない一瞬のために日々練習をするのですが、練習や練習試合では失敗を恐れずチャレンジする勇気と行動が必要です。部員には「迷ったらGO」と次につながる前向きな失敗を推奨していました。

話を戻しましょう。こここのところ学校だよりでは小学生の「体験活動」の重要性を取り上げてきました。失敗しても次のチャレンジ、次のチャンスがたくさん待っているのが小学生の特権ではないでしょうか。失敗体験は少し恥ずかしくもありますが、「ドンマイ」「次があるよ」と周りの友達が励ましてくれる環境があれば勇気がわいてきます。「よくがんばったね」と認めてくれる家庭環境があればやる気がわいてきます。小学生でのたくさんの体験活動が高校生になったときの自尊感情に影響を与えるのは、十分納得できる話です。児童の心の中に5年後、10年後に芽を出す成長の種をまくことのできる学校でありたいと願っています。

今年の干支は辰年です。

龍（竜・辰）は空想上の生き物ですが、「鯉のぼり」の話の由来となっているそうです。「登竜門」ということわざにもあるように古代中国の故事ではとても縁起のよいものとされているそうです。二回り前の辰年だった2000年を迎えたのがそんなに昔でないような気がするのですが、もう2024年なのですね。私たちには時間を戻すことも止めることもできないので、「今」という時間を大切にできる心がけを忘れないようにしています。今年も皆様にとってよい年でありますように。

（狭山市立南小学校 校長 山本昭）

※2学期の「保護者アンケート」の結果を裏面に掲載いたしました。よろしくお願いいたします。

12月の保護者アンケートのご協力ありがとうございました。224通の回答をいただきました。今年度もフォームズでの回答とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

表 保護者アンケート結果

No.	評価項目 (Aよくできている・Bできている・Cあまりできていない・Dできていない)	A	B	C	D
1	本校は、学校の取り組みについて、保護者・地域の方にわかりやすく伝えている。	30.8%	65.1%	4.1%	0.0%
2	本校は、教育活動(授業や学校行事)を積極的に公開している。	36.1%	61.6%	2.3%	0.0%
3	本校は、体験活動や児童の興味・関心を重視した、学ぶ(わかる)喜びを味わわせる授業を行っている。	25.0%	71.0%	4.0%	0.0%
4	本校は、児童の人権を尊重した指導を行っている。	25.5%	69.6%	4.5%	0.4%
5	本校は、教育環境の整備(施設設備の充実、環境整備、安全対策等)を積極的に行っている。	19.4%	69.8%	9.0%	1.8%
6	本校の教職員は、児童をよりよく理解し、問題に適切に対応している。	23.4%	68.1%	7.6%	0.9%
7	お子さんは、学校に楽しく登校している。	49.1%	43.8%	6.2%	0.9%
8	お子さんは、読み・書き・計算などの学習の基礎となる学力を身につけている。	22.8%	66.2%	10.3%	0.9%
9	お子さんは、あいさつや場に応じた言葉遣いが身につけている。	12.5%	67.5%	19.6%	0.4%
10	お子さんは、進んで読書に取り組んでいる。	13.4%	34.4%	41.1%	11.1%
11	お子さんは、家庭学習の習慣が身につけている。	11.6%	53.6%	29.9%	4.9%
12	お子さんは、友達と仲よく遊んだり、運動したりすることができている。	39.3%	51.4%	8.9%	0.4%
13	お子さんは、学校の出来事や友だちのことを家で話している。	36.2%	47.8%	15.1%	0.9%

※小数第二位を四捨五入しています。

概ねよい評価をいただきました。最もよい評価は No.2「教育活動(授業や学校行事)を積極的に公開している。」が A+B97.7%でした。昨年度より2項目減っていますが、A+Bが9割以上の項目は13項目中6項目でした。9割を切った2項目は、No.5「教育環境設備」とNo.12「友達と仲良く遊んだり、運動したりする」でした。課題となる項目はNo.7「学校に楽しく登校している。」No.10「進んで読書に取り組んでいる。」No.11「家庭学習の習慣」No.12「友達と仲良く遊んだり、運動したりする。」でした。No.7とNo.12は関連していると考えます。児童が安心して学校へ通える学級経営は教職員の重要な責務です。本校への不安と真摯に受け止め、課題解決、教職員の資質・指導力向上に努めてまいります。No.10「読書への取組」はA+Bが50%を切る結果となりました。家庭と学校での本に触れる機会の差を感じます。家庭での読書の機会を増やす取組が必要と考えます。学校からの課題の出し方の工夫、家庭での機会づくりなど協力し合えたらと考えます。毎年課題にあがる「あいさつ」に関しては、A+Bが80%となり、ここ近年で一番良い結果となりました。学校では児童による「あいさつ運動」を実施しました。挨拶することへの抵抗が減るなど取組の成果が感じられます。今後も取組を継続し、挨拶への意識を高めていきます。

記述欄の入力は31通でした。複数回答で最も多かったのは、「安全・環境」に関するものが5通、「学校・指導への感謝」が4通、「アンケートの実施方法の改善」が4通、「教科指導の改善」に関するものが4通、「児童理解・問題対応」への改善が2通、「学校公開の機会増加」に関するものが2通でした。児童の安全に関することでは、地域の開発等に伴い、登下校時の安全性を心配する声が上がっています。学校としても現場の確認等を行い、関係各所へ訴えて参ります。また、市民の声が一番届きやすいところは、狭山市役所です。地域の声としても届けていただくと学校と地域住民の困り感がより伝わるものと考えます。学校としては今後も教職員による安全対策、児童への安全指導を具体的に行い、安心安全な学校生活を送れるよう努めて参ります。アンケートの実施方法に関して「無記名にしてほしい」というご意見がありました。学校といたしましては、いただいたご意見・ご指摘に迅速かつ適切に対応していくために記名をお願いしたいと考えております。ご理解・ご協力をお願いいたします。「教科指導の改善」「児童理解・問題対応」につきましては、教職員の資質・指導力の向上に努めて参ります。学校課題に合った研修の実施と充実、管理職による指導・助言を実施して参ります。「学校公開の機会増加」に関しましては、現在2・3時間目の公開となっている第2土曜日の学校公開を来年度より1・2・3時間目公開とする予定です。また、学校行事への保護者参観も可能な限り設け、学校の様子・児童の様子・教職員の様子を見ていただけるよう努めてまいります。

本年度より導入した「スクリレ」に関しては、概ね好評を得ています。今後も継続して参りますので、配信のご確認をお願いいたします。

学校に対する様々なご要望は、その主旨を真摯に受け止め、改善に向け努力します。引き続き、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。ご要望がありましたら遠慮せず学校へ直接お寄せください。